

年齢の影響を受けない FIB-3 index と M2BPGi の比較

◎天野 純弘¹⁾、田頭 歩美¹⁾、高井 智美²⁾、三宅 美穂³⁾、黒川 晴香³⁾、高谷 麻奈⁴⁾、新穂 茂樹²⁾、木村 広幸⁵⁾
 株式会社 シー・アール・シー 大牟田検査室¹⁾、株式会社 シー・アール・シー 佐賀検査室²⁾、株式会社 シー・アール・シー PLC
 島原検査室³⁾、株式会社 シー・アール・シー 諫早検査室⁴⁾、株式会社 シー・アール・シー 総合研究所⁵⁾

【はじめに】肝細胞癌の原因としてウイルス性発癌は減少し、代謝機能障害関連脂肪疾患（MASLD）が増加している。無症状であることが多く発見時には進行癌であることもあり早期発見が大切である。肝線維化を予測するスコアとしてFIB-4indexが有名であるが、計算因子として年齢を含むことから偽陽性、偽陰性の存在が話題になっている。今回、年齢の影響を回避したFIB-3index（狩山らの式）と肝臓線維化のマーカーであるM2BPGiとの比較を行ったので報告する。

【対象】当センターにM2BPGiの依頼のあった459検体を匿名化し比較検討を行った。

【機器・試薬】HISCL-5000、M2BPGi 試薬、XN1000(血球測定装置)：シスメックス株式会社、AU5800（生化学分析装置）：ベックマン・コールター株式会社

統計処理：EZR(ver.4.33)

【方法・結果】459名の平均年齢65.9歳±12.8、M：250名、F：209名。FIB-3とFIB-4との相関係数はr=0.71、M2BPGiとの相関係数はr=0.399であった。M2BPGi 値

(C.O.I) 2.0以上でROC解析を行い65歳以下、66歳以上のAUCを求めた。65歳以下 FIB-4で0.851、FIB-3で0.827 (p=0.116) 66歳以上 FIB-4で0.798、FIB-3で0.816(p=0.513)と同等の性能を示したが、M2BPGiとの判定一致率は、FIB-4で59%、FIB-3で66%となった。

【考察】ROC解析よりAUCはFIB-4とFIB-3は差がなく (p=0.865) 同等の予測能力と考えられるが、年齢間のAUCの差はFIB-4で0.053、FIB-3で0.011となりFIB-3の差が小さいことから年齢の影響を受けない事が示唆された。

【まとめ】FIB-3（狩山らの式）はFIB-4同様一般的血液検査から算出することが可能であり線維化予測能は同等以上かと考える。年齢による、偽陰性、偽陽性を回避できることが期待される。FIB-3陽性時にはM2BPGiや腹部超音波検査、肝生検へ進むロジックの構築も有用である。

連絡先：0944-51-5682